



## 8月31日は総合防災訓練です

問い合わせ 防災課 ☎0537(85)1119

### 防災力を高めよう

地域の防災体制の確立と再確認のため、総合防災訓練を実施します。

大地震が発生したときは、自分で自分の身を守る「自助」が第一です。また、地域や身近にいる人たちが助け合う「共助」も大きな力となります。日頃から地域の活動に目を向けて地域防災力を高めましょう。

### サイレンを鳴らします

8月31日の訓練当日は、午前8時30分に「地震発生」、8時33分に「大津波警報」の訓練サイレンを鳴らします。

市民のみならずも積極的に地域の訓練へ参加しましょう。

※気象条件などにより訓練が変更・中止となる場合もあります。

### いざというときに備える

いざというときに慌てず行動するためにも、何をすればよいのか定期的に家族で話し合いの時間を持ちましょう。避難場所や安全な



▲昨年の高松方面隊の避難所 HUG の様子

### 各家庭で食料確保を！

避難経路を確認したら、家族用の防災マップを作成しておきましょう。家族が離れている時に災害に遭った場合の緊急連絡先や、災害用伝言サービスなどの関連情報も紙に記入し家族全員が常に持ち歩くようにしましょう。

今後予想されている巨大地震では、被害地域も広域におよぶことが予想され、応援物資の不足が懸念されています。

各家庭でも、食料や飲料水などを一週間分以上備蓄するなどの事前対策をお願いします。



## 秋の農作業安全運動に取り組みましょう

問い合わせ 農林水産課 ☎0537(85)1125

秋の農繁期は、コンバインやトラクターなどの農業機械を使った農作業を行う機会が多くなります。この原因の多くは、作業者の不注意や操作ミスによるものです。

幸いなことに市内では昨年にも重大な農作業事故は発生していませんが、改めて事故防止を啓発するため「秋の農作業安全運動期間」を設定して農作業安全運動に取り組みましょう。

### 運動期間

平成26年9月～10月

### 重点注意事項

① 農業機械の管理・利用は適切に行いましょう

毎日の作業前には、必ず日常点検を実施し、定期的な整備工場での整備を行いまししょう。

② 適度な休息を取りましょう

長時間労働は注意力を低下させ、事故を発生させる要因となります。

適度な休息を取り、心身ともに健康な状態で作業を行いまししょう。



③ 小型の機械でも油断大敵  
耕運機など小型の機械であっても、使い方を誤れば死亡事故につながります。十分注意した操作を心掛けまししょう。

④ 作業環境を確認し、危険性に配慮しまししょう  
作業前に作業環境を確認し、事故を起こさない環境づくりを心掛けまししょう。

⑤ 適正な機械使用を心掛けまししょう  
機械の点検や修理のときは、必ずエンジンを止めてから行いまししょう。

⑥ 農業機械以外にも要注意  
農作業中の死亡事故は、機械によるもの以外にも、転倒、熱中症などさまざまです。

すべての農作業に危険が伴うと認識しまししょう。